

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年6月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4694300072
法人名	社会福祉法人 大川福祉会
事業所名	グループホーム ぼだい樹
所在地	鹿児島県南九州市穎娃町別府2796番地1 (電話) 0993-27-4566
自己評価作成日	平成31年4月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年5月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

リビングからは開聞岳や大隅半島、遠くは硫黄島・竹島・種子島などの離島も望むことができます。天気のいい日は屋外へ出てお茶を飲みながら景色を楽しんだりコードレスバイクやマッサージ機・マイクロ電気などの機器も要望に応じて提供しています。また、法人主催のゲートボール大会や納涼祭、運動会、避難訓練など地域の方にも参加いただくなど地域との繋がりも大切にしています。法人の特徴である法話会や彼岸法要などは入居者様からも喜んでいただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所理念で尊厳を重視し、理念を玄関に掲げ職員会議の時に唱和している。
- ・建物の室内各所に手すりを多く設置し、朝食後には歩行練習を行っており、転倒予防や機能訓練ができるようにしている。リビングにマッサージ器、マイクロ電気、コードレスバイクを設置し希望時は対応している。敷地内の散歩や足腰のリハビリも行っている。
- ・法人主催のゲートボール大会や納涼祭を開催し、地域の人々の参加も多く、利用者と楽しく交流が図られている。
- ・人権擁護についての研修会は外部講師を招き年1回開催している。
- ・働きやすい職場作りをめざし、職員間のコミュニケーションもよく丁寧な介護へ繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ぼだい樹独自の理念を掲げ掲示している。職員会議などを通して唱和するなど職員へ周知している。	独自の基本理念と介護理念を玄関に掲示し、毎月の職員会議等で唱和し、サービスの振り返りをしている。年間目標を立て、理念を通し共通理解に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ゲートボール大会や納涼祭、避難訓練など地域への参加を呼び掛け交流を図っている。	利用者が地域とつながるように内部行事の案内や地域で行われる高齢者クラブで認知症の話をしたり、法人主催のゲートボールなどの行事に参加を呼びかける等、地域の人と交流を深めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症の方を抱えている家族の相談や施設見学時のパンフレット配布など訪問時及び電話にて随時対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日常の活動内容や外出支援、リスクマネジメントなどの報告を行い会議で検討、会議録を職員へも周知している。	定期的に開催しており、日常の活動状況を説明しヒヤリハット・事故報告等や自己評価・外部評価結果も公表し、対策などについて参加者から意見を貰いサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議などを通して行事や活動内容を報告し、行政担当者との意見交換を行っている。行政からの通知や要望にも早急に対応している。	運営推進会議に毎回参加してもらったり、書類関係の提出時に必要に応じ相談をしたりしている。行政からの研修や依頼は積極的に対応している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束マニュアルを基に勉強会を開催し職員へも周知している。危険性を伴う場合以外、身体拘束排除に向けて取り組んでいる。	身体拘束はしないことに職員全員で取り組み、勉強会を毎月実施している。言葉についても特に気配りしている。運営推進会議で利用者の状況を説明し、質問や意見交換をしている。昼間は玄関の施錠はしていない。自由に出入りができ、外出希望者の把握や分析をして対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止マニュアルを基に勉強会を開催し職員へも周知している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人全体の取り組みとして毎年人権擁護研修を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時や内容改定時に文書にて案内し内容を確認いただき同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時や介護計画変更時など家族の要望や意見を伺っている。外部者へも意見できるよう苦情・相談窓口を設置し文書にて案内している。</p>	<p>利用者の希望や意見が言いやすいように機会を設けている。家族からも面会するとき状況を説明し積極的に話しかけ意見や思いを聞くようにしている。遠方の家族には、電話で交流に努めており、相談窓口も設置している。意見は運営に活かされるように支援している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の職員会議に施設長にも参加いただき職員の意見や提案、要望などを伺う機会を設けている。</p>	<p>日常的に管理者は職員と何でも言い合える環境作りに努めている。職員会議でも意見がよく出て、働きやすい職場環境を作るように努め、丁寧な介護に繋がるようにしている。個別面談も実施している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者、施設長が定期的に職員との面談機会を設け資格に応じた手当を給料へ反映するなど能力に応じた対応を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>入浴・食事・排泄介助など担当を決め勉強会を開催。介護技術の向上に取り組んでいる。外部研修にも希望者を参加できるように勤務調整している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>隣接施設や同法人との交流、地域で開催される研修・交流会に参加し情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居される事前に本人と面会機会を設け、要望等を伺い安心して生活できるよう介護計画に反映している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居に伴い事前に家族と面会機会を設け要望を伺い安心して生活できるよう介護計画に反映している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の要望や認知症状の状態を把握し優先すべき内容を介護計画に反映している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の準備や片付け、食堂や部屋の掃除など個人の能力を活用し共に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日用品の不足時やおやつ希望時など家族へ相談し購入をお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	彼岸法要や買い物、ドライブなどを定期的に計画し地域の方と交流できる機会を設けている。	これまでの人間関係を一人ひとり把握して個々に対応している。買物・初詣・ドライブ・外食・お茶会等に出かけ、馴染みの関係が途切れないように支援している。家族の協力で墓参りや行きつけの店での食事や買い物を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お茶時間や集団レク、カラオケ、庭散歩など一緒に関わる時間を設けている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も新たな施設での生活の様子について電話や訪問などで伺っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	対面時や余暇時間など入居者様の要望を伺いケース記録へ記載し情報を共有している。困難な方に対しては今何が必要かをケアカンファレンスで話し合い介護計画へ反映している。	今までの生活歴を把握し、利用者に直接聞いたり家族から情報をもらい、行動や表情を汲み取り記録している。家族の考えも参考にしながら職員会議で意見交換を行い本人の思いを大切に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や親族、本人から得た情報を基本情報にまとめケース記録に綴っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人の生活状況を申し送りノートやケース記録に記入し改善点など職員会議で報告、情報把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ヒヤリハットな事例などリスクマネジメントとして勉強会で報告し職員の意見を伺いながら予防に努めている。また、機能や能力の変化が見られるときはカンファレンスを開催し本人・家族の意見を反映したプランを作成している。	介護計画の作成や見直しの際は日常生活の申し送りノートや職員からの情報を聞き、家族の意見を聞き担当者会議を開催している。モニタリングは3ヶ月毎に実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日常の変化や気づきなど申し送りノートに記入し全職員で共有している。生活状況や活動内容はケース記録へ記入している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況の変化に伴い都度サービス内容を見直し介護計画を変更している。また、機能が著しく低下したときなど身体状況に適したサービス事業所の紹介や代理での申し込みを行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>避難訓練やゲートボール大会など住み慣れた地域の方へも参加いただき協働できる関係づくりに努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の希望されるかかりつけ医を継続し定期的に受診を行っている。</p>	<p>入所前のかかりつけ医を継続している利用者が多い。週1回訪問診療を実施している。受診は家族が行けない場合は職員が対応し、夜間帯は協力医療機関で受診している。受診後は家族へ連絡している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>体調の変化など訪問看護へ報告しアドバイスを得ている。状態によっては主治医へ連絡するなど早期連携を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は情報を提供し早期退院へ向けて随時連絡を取っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>グループホームでの生活が困難な状況に至った場合において身体状況に適した施設や医療機関を紹介するなどの重度化指針を定め家族へ説明している。</p>	<p>入居時に重度化指針について説明を行い同意を得ている。利用者の状況に応じて家族に説明し話し合いを行い、利用者や家族の意向に沿った支援を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアルを独自に作成し勉強会にて職員へ周知している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防署や地域住民にも参加いただき防災訓練を実施している。</p>	<p>年2回消防署協力のもと、地震や火災について夜間想定 of 防災訓練を実施している。夏休みの訓練は子ども達も参加している。地域の協力も多く、車いす避難誘導に手伝いを貰っている。備蓄も長期保存できる物やお湯でなく水で戻すことができる物を準備している。防災器具も業者が定期的に点検をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉使いや処遇・接遇などの勉強会を定期的で開催し職員へ周知している。	人格尊重の対人援助技術の基本を勉強会を開催し学習している。言葉遣い等に配慮し、気づいた職員が注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	余暇時間やドライブ中の車内など個別に対話できる時間を設け希望等を伺っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝も時間で起こさず自から起きられるのを待つようにしている。レク活動など声掛けするが強要しないよう職員へも周知している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	好きな服を自分で選べるよう種別別にタンスに閉まっている。自分で準備できる方へは声掛けしお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居の際嗜好を確認し苦手なものは他の食材で代用している。食後もお盆拭きなどできることなどお願いしている。	栄養士によるバランスのとれた食事を提供している。嚥下状態に合わせた食事形態や代替え食材を利用している。誕生会の際は好みのものを1品多く提供して喜んで貰っている。季節の旬の食材の献立や行事食など食事が楽しくなるように支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士によるバランスの摂れた料理を提供し、嚥下状態に合わせて食事形態も変えている。食事や水分量も記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後うがいや歯磨きの声掛けを行い自分でできない方は誘導・介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄状況を記録し記録を基に時間での誘導やオムツ交換を行っている。	一人ひとりの排泄状況を記録し、排泄パターンを把握し、表情や動作で声かけをしたりトイレ誘導を促している。失禁やパット交換の回数が減少してきている事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の方は主治医へ相談し便秘薬や水分強化などで調整している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週に2～3回入浴を計画し9時から15時までの好きな時間に入浴していただいている。	週に2～3回9時から15時の時間帯で自由に入浴できるよう支援している。入浴を拒む場合は、時間や職員を変えたり、話題や気分転換できる工夫を行い無理強いないように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	余暇時間は居室や食堂にあるソファなどを利用しくつろがれている。生活音が気になる方へは部屋の場所を移動するなど随時対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報を1冊にまとめ職員が閲覧できるようにしている。服薬記録も綴り食後担当を決め記入している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	テレビ・CD・マッサージ機・マイクロ電気・コードレスバイクなど要望に応じて提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気のいい日は随時庭へ出て敷地内を散歩している。また、ドライブや買い物なども毎月計画している。お寺で開かれる法要などにも希望者を募り参加している。</p>	<p>広々とした敷地内の芝生の上を散歩している。年間の外出の計画を作成し、月に1~2回ドライブで普段行けないところにかけてたり、花見なども行っている。家族とお寺の法要に希望を聞いて出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族より小遣いを預かり希望の品を伺いながら買い物に出掛けている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話希望があれば家族の同意を得たうえで電話を掛けている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>施設建設の経験豊富な設計業者、建設業者と話し合い設計しており手すりも多く利用者にも快適に過ごせる空間となっている。</p>	<p>玄関やテーブルに季節の花が活けてある。リビングは広く、快適に過ごせるようにエアコンで温度調整している。ガラス張りの窓から開聞岳が見える。廊下に手すりがあり転倒予防に歩行練習を行っている。ソファもありゆっくりくつろげる。清潔感があり不快臭もなく居心地よく過ごしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>各居室にソファを設け自由に使用できるよう声掛けしている。食堂も4テーブル配置し相性のいい方同士座席を準備している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居の際、家族・本人と相談しながらテレビや家具などの配置を行っている。気にいった馴染みの家具や置物も持ち込み配置している。</p>	<p>居室は畳の部屋があり、洗面台や整理ダンス・ソファが設置してある。本人と家族で話し合っ て馴染みの小物や写真を持ち込み、ダンスの上に飾っている。安心して生活ができるようにプライバシー保護も守られている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホールや廊下、部屋の入り口など至るところに手すりを設置し安全に移動できるよう配慮している。余暇時間なども手すりを用いて立位運動なども行っている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない